

「もうひとり、こどもが欲しい」人を支援する社会の実現を目指す

「1 more Baby応援団」発足

タマホーム株式会社（本社：東京都港区高輪、代表取締役会長兼社長：玉木康裕）は、このたび「1 more Baby応援団」を発足致します。

「1 more Baby応援団」は、日本から少子化問題をなくしたいという想いのもとタマホーム株式会社が社会貢献として実施する活動です。この活動を通じて、「もうひとり、こどもが欲しい」という家族の想いを応援する機運を、社会全体に広げていくことを目指します。

「1 more Baby応援団」は、第1弾の取り組みとして、Facebookに投稿した子どもの写真を選ばだけで友人のコメントや「いいね！」と連動した感動ムービーがつけれる無料アプリ「こども写真館」の提供をスタートします。また、「1 more Baby応援団」のポータルサイト(<http://1morebaby.jp>)と公式Facebookページも同時に立ち上げ、出産に関するママ・パパの意識を把握するための調査結果や、タマホームが考える子育てしやすい家づくりについての情報等を発信していきます。

〈1 more Baby応援団の概要〉

◆ 設立日

2013年10月3日(木)

◆ 設立の経緯

本年6月、タマホームは日本の少子化問題の実態把握を目的に、約2000人を対象としたアンケート調査を行いました。結果、20代～40代の夫婦の約7割が「理想は2人以上こどもを持ちたい」と回答しました。しかし一方で、「経済的な理由」などで2人目以上の出産を意識的に控える、いわば“2人目の壁”の存在などが浮き彫りになりました。

この事実に一企業として何かできないかと考え、「もうひとり、こどもが欲しい」と思いながら躊躇する気持ちを軽減・解消し、少子化問題の解決に寄与することを目指し発足致しました。

◆ 目的

「もうひとり、こどもが欲しい」人を応援するというテーマが世の中の関心事となっており、みんなが手を携えて「もうひとり、こどもが欲しい」人を支援する社会の実現を目的としております。

◆ ロゴ



Facebookの写真を選ぶだけで、友人のコメントや「いいね！」と連動した感動ムービーがつかれる

「こども写真館」

「こども写真館」は、ポータルサイト(<http://1morebaby.jp>)上で提供する無料アプリで、Facebookに投稿された写真の中からお子さまの写真を選ぶと、コトリングの書き下ろし楽曲に合わせた動画が簡単につくれるサービスです。わずか3ステップの手順でムービーがつけれる使いやすさに加え、友人のコメントや「いいね！」がかわいい演出で写真を彩ったり、スタンプで自由にデコレーションできるオリジナルの機能も充実しており、ママ達が楽しめるアプリとなっています。

お子さまの成長記録はもちろん、家族旅行や運動会、お友達との誕生会など、イベントごとのムービーをいくつでもつくることができます。



出産に関するママ・パパの意識を調査・研究する

「ふたりめ意識調査」

「もうひとり、こどもが欲しい」と思いながら躊躇している人が、気兼ねなく産める社会の実現に向けてママ・パパ達の意識調査を実施。

出産・子育てに関する様々な意識の実態や問題を把握することで、今後の活動に役立てていきます。また調査結果は定期的に発信。「もうひとり、こどもが欲しい」という家族の想いを社会全体が応援する機運づくりにつなげることを目指します。

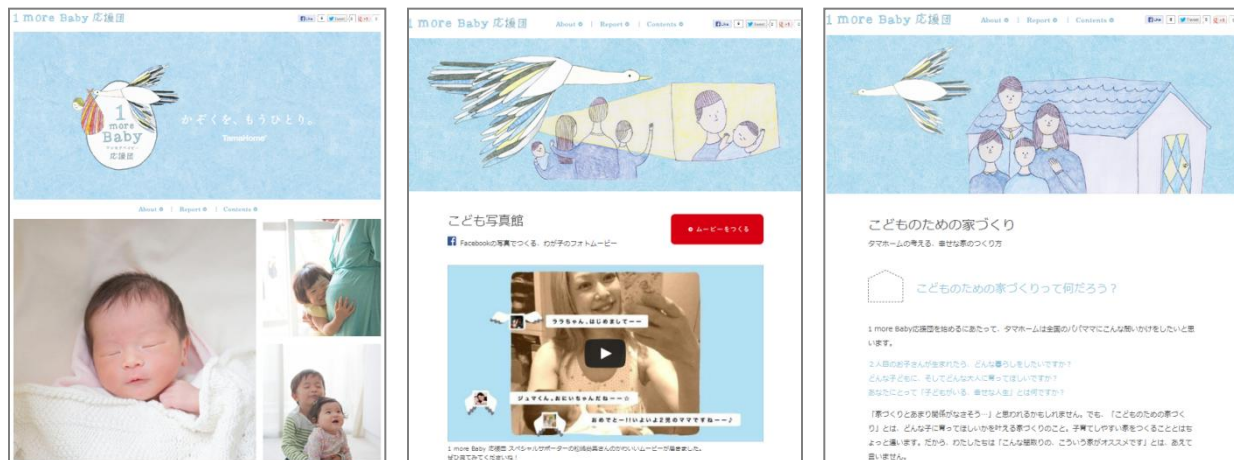


「もうひとり、こどもが欲しい」人を応援する取り組みのWEB上の拠点

「1 more Baby応援団」ポータルサイト (<http://1morebaby.jp>)

「1 more Baby応援団」の取り組みを紹介していく情報・サービスの拠点です。「こども写真館」「ふたりめ意識調査」をはじめ、タマホームが考える子どものための家づくりに関する情報や、活動レポート等の情報を発信していきます。

また、本サイト内では、写真家・川内倫子氏が撮影した写真を多数掲載しています。



活動内容をSNSで発信

「1 more Baby応援団」公式Facebookページ

活動内容を紹介する「1 more Baby応援団」公式Facebookページを立ち上げて、「ふたりめ意識調査」調査結果の定期的な発信や、有識者を招いた勉強会の内容を紹介していく予定です。



◆ ◇ ◆ 本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先 ◆ ◇ ◆
「1 more Baby 応援団」【PR事務局 株式会社マテリアル】担当：渡辺・杉原
TEL：03-5459-5490/FAX：03-5459-5491 MAIL：a2@materialpr.jp



家は、家族のためのものだから。

わたしたちは、いつも、家族を見つめています。

でも、気がかりなのは「もうひとりほしい」という思いに
なかなか一步をふみ出せないパパママがふえていること。

いっしょに遊んで、けんかして。

きょうだいのが、きこえてくる家。

ふたりめの壁を乗り越え、

「もうひとり!」と、にこやかに思える輪がひろがるように。

いろんな取り組みを、ここから生みだします。

1 more Baby 応援団

TamaHome®